

県政さわやかタウンミーティング

平成21年11月25日

東部健康福祉センター所長

主催者	部局	厚生部	所属	東部健康福祉センター衛生薬務課
開催日時	平成21年10月22日（木） 14時～16時			
会場	静岡県健康総合センター（三島市）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 冬季に多発する感染症・食中毒予防について			
テーマ	ノロウイルス対策について			
開催目的 (今後の施策への反映の方向性等含む)	冬季に介護保険施設等で発生するノロウイルス感染症（食中毒）への予防対策について、講演を行うことにより、今後の食中毒防止および感染症防御における行政指導に役立てる。			
参加者	保育園等職員 老人介護施設 行政担当者（市町）			
	65人 男 0人 女 0人 2人 男 0人 女 0人 6人 男0人 女0人			
対応局長等	東部健康福祉センター所長 東部保健所長 医療健康部長兼地域医療課長 衛生部長兼衛生薬務課長 こども家庭課長			

開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	ノロウイルス感染症の予防についての講演を実施後、タウンミーティングを開催した。		
意見件数	9件（テーマ 9件、テーマ外 0件）	発言者数	9人
意見概要	Q 嘔吐下痢が発生し、受診した場合、医師はノロウイルス感染の診断をしてくれるのか。 A 通常は、ノロウイルスの確定検査は実施しないので、感染性胃腸炎という診断になると思う。しかし、集団発生や冬季などの状況から、「ノロウイルスの疑い」という判断はするかもしれない。保健所に相談された場合、病原体の確認として、確定検査は実施するが、個人の診断としては実施していない。 Q インフルエンザで学級閉鎖をしている児童の兄弟（濃厚接触者）が託児所に来るのは、問題ではないか。 A 学校では、症状が出る（発熱等）までは、出席可能。託児所にはきちんとしたルールがないので、個々の状況で対応してもらいたい。厚生労働省の考え方は、「弱毒性であるので、濃厚接触者であっても、外出禁止等の措置はしない」となっているので、症状（発熱等）がなければ、受け入れた上で、マスクの装着等で対応してもらいたい。 Q 吐物の処理を迅速に行うため、とりあえず薬剤を薄めない（原液）で使用してもよいか。 A 原液の使用は、目、のどへの刺激が強いので、控えた方がよい。適切な濃度に調整するための準備をあらかじめしておくとよい。また、薄めたものも高濃度であれば、1日くらいは効果を保持できるので、朝調整し、帰りには拭き取り等に使用する方法をとってもよい。 Q 汚物の処理時に、履物のカバーはどうしたらよいか。 A できれば、カバーした方がよいが、できない場合、新聞紙を敷き、薬剤を撒きながら近づいたり、処理後に履物を洗浄消毒する方法をとってもよい。 Q 新型インフルエンザ患者の衣服も、ノロウイルスのときと同様の漬け置きが必要か。 A インフルエンザウイルスの方がノロウイルスよりも、熱や薬剤に弱いことと、口から入るのでなく、吸入による感染であるので、濃厚汚染の衣服でなければ、通常の洗濯でかまわないと思います。 Q 消毒薬ではなく、電解水（病院での器具消毒等に使用されているとネットで読んだ）の使用は有効か。 A 次亜塩素酸ナトリウム以外のもののウイルスを殺す効果については、はっきりと明文化されて		

いないので、この場で「使用してもかまわない」とは言えない。

Q ノロウイルスの嘔吐に特徴はあるか。

A 吐き気を感じるまもなく、噴水のように嘔吐する。大人でも、トイレまで間に合わないことが多い。回数にはつきりした傾向はないが、複数回にわたる場合もある。

Q 幼稚園で嘔吐した園児の対処は、どうしたらよいか。

A 衣服だけでなく、身体や髪にも吐物が付着しているので、シャワーで洗い流すようにする。その後、シャワー室内の消毒を実施する。また、衣服の洗浄を行った場合は、吐物を流した場所の洗浄消毒を実施する。

Q 老人福祉施設で、夜勤は1人で対応しているが、他の施設でノロウイルス等への対応はどうしているか、参加施設があれば、伺いたい。

A 次亜塩素酸ナトリウムを薄めた液を、毎朝調整し、業務の終了時に車椅子の押し手や階段の手すり等の拭き取りに使用している。

施策への反映見込	保育園や老人介護施設などでは、経費や人員の問題で充分な感染症防止対策が極めて難しいが、今回得られた意見を参考に、より経済的で効率的な方法を模索する。				
企画運営担当	所属	厚生部東部健康福祉センター 衛生薬務課	担当者	川村 朝子	電話 055-920-2102